

おうちにいくよ



令和3年度 第2回 介護・医療連携推進会議

- 日時:令和4年3月18日(金) 13:30~14:30
- 会場:株式会社 エール フリースペース
- 主催:株式会社エール

24時間訪問介護看護 ケアステップ エール

(岡山市指定 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業)

yell!



議事

開会挨拶

株式会社 エールとは

定期巡回・随時対応型訪問介護看護について

利用の現状について

症例発表

介護職員処遇改善加算における職場環境等取り組み、見える化要件について

課題について

質疑応答／意見交換

次回日程のご案内(令和4年度 第1回)

(案)令和4年9月16日(金)13:30~14:30

yell!



株式会社エールとは？

会社概要 COMPANY	
社名	株式会社 エール
設立	平成27年9月30日
代表取締役	平田 晶奈
従業員数	25人（2019年1月時点）
TEL	086-239-8115
FAX	086-239-8116
e-mail	meet@yell-oka.com
所在地	〒700-0975 岡山市北区今5丁目1-15
事業内容	・ 訪問看護事業 ・ 居宅介護支援事業



平田 晶奈 ひらた あきな
代表取締役社長／管理者／看護師

出身：広島県福山市

趣味：子どもに混じって思いっきり遊ぶこと。

メッセージ：好物は、お酒と馬刺し。あと、メのラーメン。亥年のB型です！というと、たいてい一歩引かれます。開きなおって、猪突猛進で仕事も遊びも全力で楽しんでいます！

yell! 

株式会社エールの想い

♡
エールの想い
CONCEPT

人の可能性を信じ、応援する。

誰もが、自分の可能性を信じ、前に進むために。

そんな次の「一歩」を踏み出す方法を、わたしたちは一緒に考えていきます。

一人ひとりの想いと向き合い、常に伴走者として寄り添うことで、

周りの人たちがもっと“自分らしく”輝くものになる。

そんな世の中をつくるのが、エールの使命です。



yell!



地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要があります。



出典:平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書より

yell!

定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス概要

正式名称は、

定期巡回・随時対応型訪問介護看護



創設の経緯

訪問介護などの在宅サービスが増加しているものの、重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を**24時間支える仕組み**が不足していることに加え、医療ニーズが高い高齢者に対して**医療と介護との連携**が不足しているとの問題がある。

このため、①日中・夜間を通じて、②訪問介護と訪問看護の両方を提供し、③定期巡回と随時の対応を行う定期巡回・随時対応型訪問介護看護を創設。
(2012年4月)

※2018年1月時点での請求事業者数:853事業所



「**住み慣れた家で最期まで**」を叶えるサービス。

yell!



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの利用条件

1 要介護認定者であること

重度化の防止・ADLの向上を基本理念とした、要介護者に向けたサービスです。

2 住所地が岡山市であること

地域密着型サービスであるため、岡山市に住民票がある方のみが対象となります。岡山市に在住で、住民票が他の市区町村にある場合、**住所地特例の適用**が認められれば、例外的に利用することもできます。

3 訪問介護・夜間対応型訪問介護・訪問看護との併用不可

サービス内容が重複するため、定期巡回サービスと併用することはできません。ただし、**通院等乗降介助のみ、併用可能**です。



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス内容



定期巡回サービス

訪問介護員が計画書に基づいて1日複数回・短時間の介護サービスを巡回して行うもの。



随時対応サービス

利用者やその家族等から24時間365日緊急時等に連絡を受け、訪問の可否を判断するもの。



随時訪問サービス

随時対応サービスの訪問の可否の判断に基づき、利用者宅を訪問して介護サービスを行うもの。



訪問看護サービス

医師の指示に基づき、看護師等が利用者宅を訪問して看護サービスを行うもの。

適切なアセスメントとマネジメントに基づいて、介護サービスと看護サービスが連携を図りつつ、「短時間の定期訪問」、「随時の対応」といった手段を適宜・適切に組み合わせて、1日複数回、「必要なタイミング」で「必要な量と内容」のケアを一体的に提供するものであり、4つのサービスが提供されます。

yell!



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの特徴

1 ケアプランの協同作成

定期巡回事業所の**計画作成責任者**が、ケアマネジャー、看護師と共にケアプランを作成します。制度上、「いつ、何回行って、何を**するか**」(≡ケアプラン3表)の**裁量権は、定期巡回事業所に持たされています。**



サービス量の適正化を目的とした制度設計

2 2時間ルール・20分ルール適用外

従来のサービスでは不可能とされていた、**2時間以内の再訪問**や、**20分未満のサービス提供**が可能です。




相互関係


3 包括報酬

要介護度に応じた月あたりの定額制です。
※日割りでの利用も可能。



アセスメントの徹底

 ケアマネジャーの視点
(総合アセスメント)

 看護師の視点
(医療アセスメント)

 定期巡回の視点
(頻回なアセスメント)



計画書(第一版)を作成



利用者を様々な視点から立体的に捉えたうえで、定期巡回サービスによる**24時間365日の介入**で、**断続的なアセスメントとモニタリング**を実施。

日々**変動する利用者のニーズ**に応じ、**迅速で柔軟な対応**を取ることで、ADLの向上や、重度化の防止を図る。

ポジティブアセスメント

yell! 

利用の現状について(R4,2月現在)※御南中学校区での利用 5名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
O.J様	86歳	2	北区田町	29回	1回	○	服薬、安否確認
I.M様	72歳	4	北区今	149回	2回	医療	排泄介助
H.O様	81歳	1	北区今	89回	4回	○	服薬、安否確認
H.O様	85歳	1	北区今	78回	1回	○	服薬、安否確認
H.K様	86歳	2	北区富田	16回	-	医療	服薬、安否確認
S.K様	90歳	1	北区高柳	35回	-	○	服薬、安否確認
M.Y様	96歳	1	北区富町	35回	-	○	服薬、安否確認

利用の現状について(R4,2月現在)※御南中学校区での利用 5名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
M.N様	89歳	1	北区撫川	19回	-	-	服薬、安否確認
H.T様	84歳	2	北区東古松	30回	-	医療	排泄介助
Y.Y様	93歳	4	南区福富	87回	1回	○	排泄介助、更衣介助
N.K様	88歳	4	北区下中野	70回	-	○	服薬、安否確認
T.S様	80歳	5	南区築港栄町	118回	-	医療	おしめ交換
K.K様	83歳	5	中区円山	102回	-	○	おしめ交換

利用の現状について(R4,2月現在)※御南中学校区での利用 5名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
T.Y様	81歳	5	北区津島南	92回	-	医療	おしめ交換
Y.M様	82歳	4	北区今	104回	-	○	おしめ交換
H.E様	99歳	5	北区伊島町	45回	-	○	おしめ交換
M.S様	66歳	2	北区昭和町	31回	8回	医療	排泄介助、安否確認
Y.I様	79歳	5	北区平野	28回	-	医療	おしめ交換
K.O様	90歳	4	北区富町	51回	7回	○	オシメ交換、服薬確認

利用の現状について(R4,2月現在)※御南中学校区での利用 5名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
Y.T様	87歳	4	南区妹尾	22回	1回	○	おしめ交換、安否確認
S.S様	75歳	5	北区日吉町	24回	1回	医療	おしめ交換、安否確認
K.H様	71歳	2	北区下伊福	5回	-	医療	おしめ交換、安否確認
K.S様	85歳	5	中区浜	48回	-	医療	おしめ交換、安否確認
S.K様	72歳	5	南区大福	107回	9回	-	おしめ交換、安否確認
K.Y様	76歳	4	南区新保	21回	2回	医療	おしめ交換、服薬確認

利用の現状について(R4,2月現在)※御南中学校区での利用 5名

- ◆お客様登録数 26名(入院1名)
- ◆平均介護度 3.26
- ◆月定期訪問総回数 1452回
- ◆平均定期訪問回数 55.8回
- ◆月随時訪問回数 38回
- ◆新規依頼 3名
- ◆終了者 5名



症例発表

- CASE1 肝癌末期 60代 男性

入院されていたがコロナ禍の影響で家族との面会もままならず、介護経験のない家族に代わり排泄対応、保清、家族の介護負担軽減などを医療職と連携を図りながら自宅でご家族に看取られご逝去されました。『家に帰りたい』と言われ最期の願いを叶える事が出来ました。

- CASE2 パーキンソン病 80代 男性

病院にて治療されていたが家族の面会時入院当初会話・意思疎通出来ておられたが、長引くコロナ禍の為面会困難の為、、会話・意思の疎通困難となられ、ご家族の希望にて自宅での療養のため退院。訪問診療・訪問看護など医療職との連携を図り現在では少しずつではあるも、会話が出来るようになり、意思の疎通も出来るようになってきてきました。ご家族様にも笑顔が見え少しでもご希望に添えていくことができます。

yell!



介護職員処遇改善加算における
職場環境等取り組み、見える化要件
について

別紙参照ください

yell! 

課題について

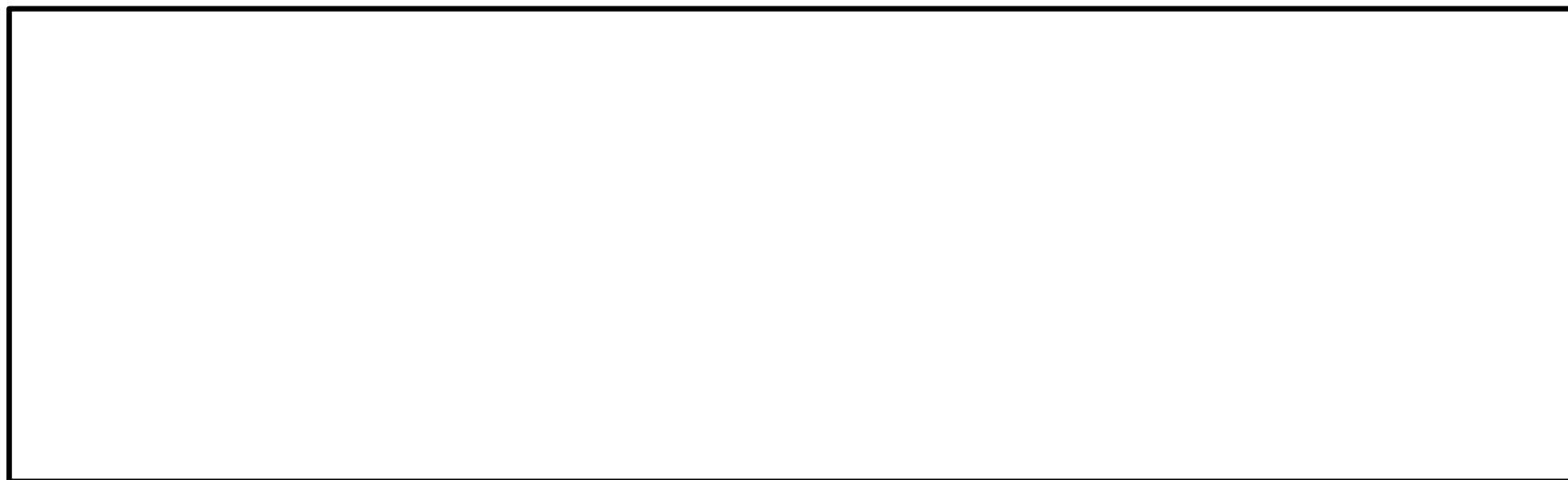
◆人員確保

◆定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの
認知度、理解度が低い

◆医療・介護の連携

yell! 

質疑応答/意見交換会



次回日程のご案内

令和4年9月16日(金)13:30～14:30

本日は、皆様ご多用にも関わらずお越しくださり心より感謝申し上げます。

yell!

